



平成26年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ルック

コード番号 8029 URL <http://www.look-inc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 牧 武彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 高山 英二

TEL 03-3794-9148

四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	11,641	13.2	545	6.1	586	14.4	524	16.2
25年12月期第1四半期	10,283	9.2	580	16.5	685	9.1	625	12.2

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 77百万円 (%) 25年12月期第1四半期 1,309百万円 (3.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	13.72	
25年12月期第1四半期	16.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	28,666	18,478	63.5
25年12月期	28,425	18,673	64.8

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 18,217百万円 25年12月期 18,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期		0.00		3.00	3.00
26年12月期					
26年12月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,500	8.2	300	54.6	450	51.6	400	47.4	10.47
通期	45,000	8.5	1,200	1.1	1,400	16.7	1,400	3.2	36.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信〔添付資料〕P.3'2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用,をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	38,237,067 株	25年12月期	38,237,067 株
26年12月期1Q	15,967 株	25年12月期	15,562 株
26年12月期1Q	38,221,443 株	25年12月期1Q	38,228,435 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、四半期決算短信〔添付資料〕P.3'1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明,をご参照下さい。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られるなど、全体としては緩やかな回復が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、2月は関東甲信越を中心とした記録的大雪に影響を受けたものの、3月は消費税率引上げ前の駆け込み需要等もあり、ラグジュアリーブランドなどの高額商品を中心に個人消費が伸長いたしました。4月以降は消費税率引上げ後の反動減等もあり、予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、中期5ヵ年経営計画に基づき、収益基盤の強化に向けた積極的な拡販策とブランド事業の強化に取り組んでまいりました。また、季節商品を早期に展開するなど駆け込み需要対策に取り組んだ結果、売上高は前年同期を大きく上回りました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は116億4千1百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は5億4千5百万円（前年同期比6.1%減）、経常利益は5億8千6百万円（前年同期比14.4%減）、四半期純利益は5億2千4百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

(アパレル関連事業)

「日本」につきましては、百貨店を主販路とする戦略ブランドの「トリー パーチ」、直営店を展開する生活雑貨ブランド「マリメッコ」やレザーブランド「イル ビゾンテ」、A.P.C.Japan株式会社のブランド「A.P.C.」の売上が好調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は89億5百万円（前年同期比10.8%増）となりました。一方、バーゲン販売比率の増加などにより、売上利益率が低下した結果、営業利益は3億7千6百万円（前年同期比11.3%減）となりました。なお、米国のレディースブランド「デュ ラックス」は、株式会社エル・ターミナルで運営しておりましたが、経営の効率化を図るために、平成26年3月16日付で当社に事業を移管いたしました。

「韓国」につきましては、株式会社アイディールックにおいて、昨年の第1四半期より販売を開始した「サンドロ」や百貨店向け主力ブランド「キース」が伸長し、売上高は前年同期を上回り、売上利益が増加いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は24億8千2百万円（前年同期比26.7%増）、営業利益は1億3千3百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

「その他海外」（香港・中国）につきましては、ルック（H.K.）Ltd.（香港）では、既存店舗の売上が好調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りました。洛格（上海）商貿有限公司では、中国の経済成長の減速、節約志向の広がりなどにより消費動向が低調に推移するなか、既存店舗の売上高が前年同期を下回り、業績が悪化いたしました。これらにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億4千9百万円（前年同期比11.5%増）、営業損益は収支均衡（前年同期は8百万円の営業利益）となりました。

これらの結果、アパレル関連事業計の当第1四半期連結累計期間の売上高は115億3千7百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益は5億9百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

(生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、当社向けアパレル製品の生産高が前年を下回りましたが、生産工賃等の低減により製造費用が減少したことなどにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は10億6千2百万円（前年同期比7.5%減）、営業損失は9百万円（前年同期は2千2百万円の営業損失）となりました。

(物流事業)

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、当社グループ取り扱い製品及び商品の保管料の見直しや、物流及び検査スペースの拡大にともなう倉庫賃料の増加などにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は3億4千6百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は2千5百万円（前年同期比30.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2億4百万円増加し、286億6千6百万円となりました。

負債は、短期借入金増加などにより、前連結会計年度末に比べ4億3千6百万円増加し、101億8千8百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しましたが、その他有価証券評価差額金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ1億9千5百万円減少し、184億7千8百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、63.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の海外連結子会社において、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,856	3,059
受取手形及び売掛金	5,407	5,856
商品及び製品	8,369	8,502
仕掛品	518	417
原材料及び貯蔵品	313	306
繰延税金資産	792	806
その他	719	573
貸倒引当金	35	38
流動資産合計	18,942	19,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,498	1,486
土地	1,633	1,623
その他(純額)	945	947
有形固定資産合計	4,077	4,058
無形固定資産		
	222	223
投資その他の資産		
投資有価証券	3,472	3,151
敷金	1,554	1,576
その他	191	197
貸倒引当金	34	25
投資その他の資産合計	5,183	4,900
固定資産合計	9,482	9,182
資産合計	28,425	28,666
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,251	3,981
短期借入金	150	650
未払金	126	158
未払費用	1,411	1,384
未払法人税等	299	150
未払消費税等	29	275
返品調整引当金	45	41
賞与引当金	105	280
資産除去債務	48	49
その他	340	149
流動負債合計	6,808	7,120
固定負債		
長期借入金	850	1,050
繰延税金負債	674	519
退職給付引当金	1,013	1,092
役員退職慰労引当金	11	18
資産除去債務	170	171
その他	222	214
固定負債合計	2,943	3,067
負債合計	9,751	10,188

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,340	6,340
資本剰余金	1,631	1,631
利益剰余金	8,783	9,193
自己株式	5	5
株主資本合計	16,750	17,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,550	1,205
繰延ヘッジ損益	54	30
為替換算調整勘定	50	179
その他の包括利益累計額合計	1,655	1,056
少数株主持分	267	261
純資産合計	18,673	18,478
負債純資産合計	28,425	28,666

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	10,283	11,641
売上原価	5,286	6,392
売上総利益	4,996	5,248
販売費及び一般管理費	4,416	4,703
営業利益	580	545
営業外収益		
受取利息	8	8
為替差益	2	29
退職給付引当金戻入額	43	-
その他	66	27
営業外収益合計	121	65
営業外費用		
支払利息	3	3
複合金融商品評価損	-	8
固定資産除却損	7	5
その他	5	6
営業外費用合計	16	24
経常利益	685	586
特別利益		
投資有価証券売却益	37	-
その他	1	-
特別利益合計	39	-
特別損失		
減損損失	10	-
特別損失合計	10	-
税金等調整前四半期純利益	714	586
法人税等	78	55
少数株主損益調整前四半期純利益	636	530
少数株主利益	10	6
四半期純利益	625	524

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	636	530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	413	347
繰延ヘッジ損益	15	23
為替換算調整勘定	245	237
その他の包括利益合計	673	607
四半期包括利益	1,309	77
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,275	74
少数株主に係る四半期包括利益	34	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業				生産及び OEM事業	物流 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	その他 海外	計					
売上高									
外部顧客への売上高	8,030	1,941	134	10,106	172	4	10,283	-	10,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	18	-	25	975	347	1,348	1,348	-
計	8,037	1,960	134	10,131	1,148	352	11,632	1,348	10,283
セグメント利益 又は損失()	424	109	8	541	22	37	556	24	580

(注)1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	韓国	香港	中国	合計
8,207	1,941	41	92	10,283

当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業				生産及び OEM事業	物流 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	その他 海外	計					
売上高									
外部顧客への売上高	8,893	2,459	149	11,502	135	2	11,641	-	11,641
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	23	-	34	926	343	1,305	1,305	-
計	8,905	2,482	149	11,537	1,062	346	12,946	1,305	11,641
セグメント利益 又は損失()	376	133	0	509	9	25	525	20	545

(注)1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]
 地域ごとの情報
 売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	香港	中国	合計
9,032	2,459	57	92	11,641

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、平成26年2月14日開催の取締役会において、株式会社レッセ・パッセの株式を取得することについて決議し、平成26年4月1日付で同社の株式の取得を行い、子会社化いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社レッセ・パッセ
 事業の内容 婦人服の企画・生産・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社レッセ・パッセは、20代から30代女性をターゲットとした婦人服「LAISSÉ PASSÉ」、「Début de Fiore」の2ブランドを、全国の百貨店及び商業施設を中心に約30店舗展開しており、両社の経営資源の共有化により、同社の規模拡大と収益基盤の強化を実現し、さらに当社グループ全体の企業価値の向上を図るものであります。

(3) 企業結合日

平成26年4月1日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

株式会社レッセ・パッセ

(6) 取得した議決権比率

80%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社による現金を対価とした株式取得によることであります。

2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

現在、契約に基づく株式取得の対価の精査過程にあるため、取得原価は確定しておりません。

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。